

## むらづくりアンケート 2021 の結果概要

青木村では、令和4年度から令和13年度までの10か年を計画期間とする『第6次青木村長期振興計画』の策定を進めているなかで、このアンケートは、これまでのむらづくりに対する評価や現在の暮らしに対する満足度、今後のむらづくりに対する住民の皆さんの意向等を把握し、その結果を計画策定に活かすことを目的として、以下のとおり実施したものです。

- ① 調査期間：令和3年6月26日(土)～7月26日(月)\* ※インターネット回答は8月1日(日)まで
- ② 調査対象：18歳以上の村民から無作為に抽出した2,000名
- ③ 調査方法：調査票記入（郵送返信）またはインターネット上での回答

この結果、計1,049名（郵送：828名、インターネット：221名）の方から回答をいただきました。調査対象者抽出時点の対象人口を2,912名（長野県毎月人口異動調査、令和3年4月1日時点）と推定すると、上記の結果は信頼水準95%以上、許容誤差±3%未満の精度で、このアンケートは、統計学的にも相応の妥当性がある内容として読みとることができます。

以下に回答結果を集計し、属性による違いにも着目して分析・整理しました。

### ■ 回答者の属性

【性別】女性の回答率が男性より若干高いものの、性別で大きな回答率の差はない。

【年齢】実際の人口ピラミッドと類似した比率傾向で、各年齢層でバランスよく回答が得られている。

【地区】地区別人口にほぼ比例した回答率で、各地区から満遍なく回答が得られている。

【居住歴】県内外合わせて移住者の回答が約48%で、半数近くを占めている。

【家の所有形態】持家の方がほとんどで90%以上となっている。

【職業】会社員が最も多く約27%、次いで無職、パート等、専業主婦・主夫の順でいずれも約10%超。

※インターネット（WEB）回答者のほとんどは、受け取った調査票記載のURL等からアクセスしている。

問1 あなたの性別を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率(%)
女性	533	50.8
男性	481	45.9
無回答・無効	35	3.3
合計	1,049	

問4 あなたの居住歴を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率(%)
県内の他の市町村から青木村に転入してきた	357	34.0
青木村以外での居住経験がある	329	31.4
生まれてからずっと青木村に住んでいる	212	20.2
県外から青木村に転入してきた	142	13.5
無回答・無効	9	0.9
合計	1,049	

問2 本年5月末時点のあなたの満年齢を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率(%)
20歳未満	11	1.0
20～24歳	22	2.1
25～29歳	28	2.7
30～34歳	49	4.7
35～39歳	53	5.1
40～44歳	72	6.9
45～49歳	85	8.1
50～54歳	89	8.5
55～59歳	101	9.6
60～64歳	101	9.6
65～69歳	128	12.2
70～74歳	155	14.8
75～79歳	121	11.5
80歳以上	28	2.7
無回答・無効	6	0.6
合計	1,049	

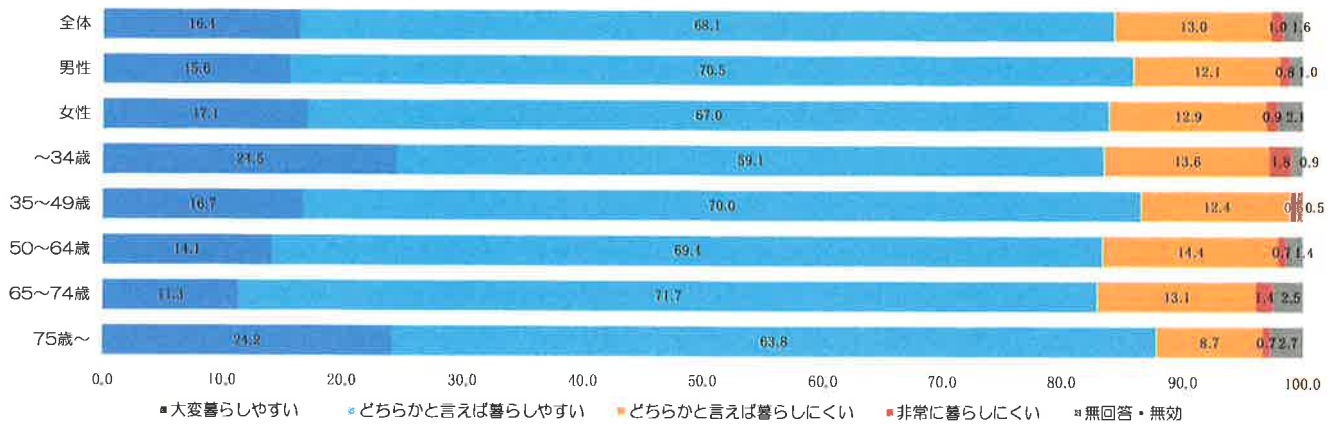
問5 お住まいの家の所有形態を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率(%)
持家(家族名義を含む)	974	92.9
借家	68	6.5
その他	3	0.3
無回答・無効	4	0.4
合計	1,049	

問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率(%)
村松	213	20.3
当郷	199	19.0
青木	113	10.8
入田沢	89	8.5
中村	66	6.3
夫神	63	6.0
中狭	61	5.8
沓掛	61	5.8
下奈良本	59	5.6
殿戸	44	4.2
細谷	38	3.6
入奈良本	19	1.8
青木の森別荘地	15	1.4
無回答・無効	9	0.9
合計	1,049	

問6 あなたの職業を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率(%)
会社員	287	27.4
無職	182	17.3
パート・アルバイト・派遣社員	136	13.0
専業主婦・主夫	136	13.0
自営業主・家族従業者(農林業以外)	97	9.2
農業者・農業の家族従事者	81	7.7
公務員	60	5.7
その他	39	3.7
学生	16	1.5
無回答・無効	15	1.4
合計	1,049	

(WEB)あなたはこのインターネット回答を行うためのURLまたはQRコードをどこでお知りになりましたか。		
※複数回答	回答数	回答率(%)
自身宛てのアンケート調査表	211	95.5
自身宛て以外のアンケート調査表	3	1.4
広報あおき	3	1.4
その他	3	1.4
村ホームページ	1	0.5
合計	221	

## ■ 暮らしやすさ



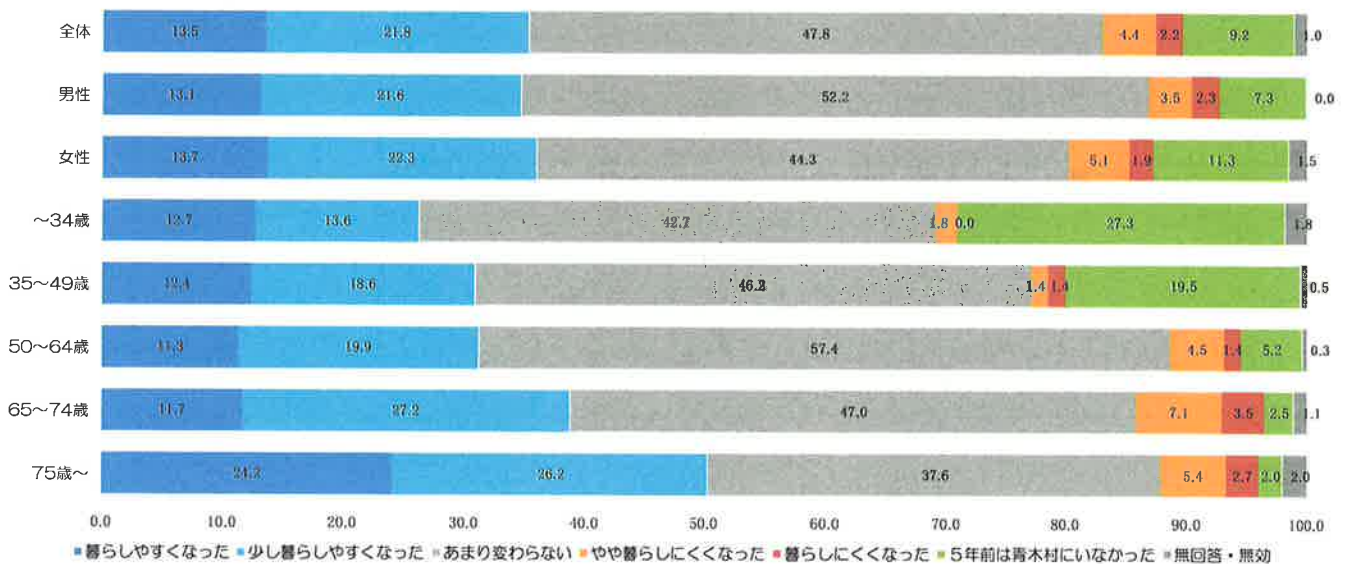
【全体】「大変暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」の合計が約 85%で、「非常に暮らしにくい」は 1%で極めて低い。

【性別】男女ともほぼ同程度の比率傾向で、性別による違いは少ない。

【年齢】34 歳以下と 75 歳以上で「大変暮らしやすい」がいずれも 24%台で、他の年齢層と比べると突出して高く、75 歳以上は「どちらかと言えば暮らしにくい」「非常に暮らしにくい」の合計比率も最も低い。

「どちらかと言えば暮らしにくい」「非常に暮らしにくい」の合計比率は 35～49 歳も比較的低い。

## ■ 5年前と比べて暮らしやすさ



【全体】「あまり変わらない」が約 48%で最も高いが、これに「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」も加えると約 83%で、5年前と比べ暮らしやすさは同水準以上と感じている方が多い。

【性別】「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」の合計は男女とも同程度の比率だが、女性は「5年前は青木村にいなかった」が男性よりも高く、「あまり変わらない」が低くなっている。

【年齢】「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」の合計比率は、年齢が上がるにつれて高い傾向がある。とくに 75 歳以上ではその比率が半数を超えている。

他方で、「やや暮らしにくくなった」「暮らしにくくなった」の合計比率は、35 歳から 74 歳にかけては、年齢が上がるにつれて高まる傾向があり、65～74 歳ではその合計が 10%を超えている。また 34 歳以下、35 歳～49 歳は、「5年前は青木村にいなかった」が突出して高く、比較的若い世代の移住者が多いことを反映している。

## ■ 現計画の各分野の施策に対する満足度と重要度

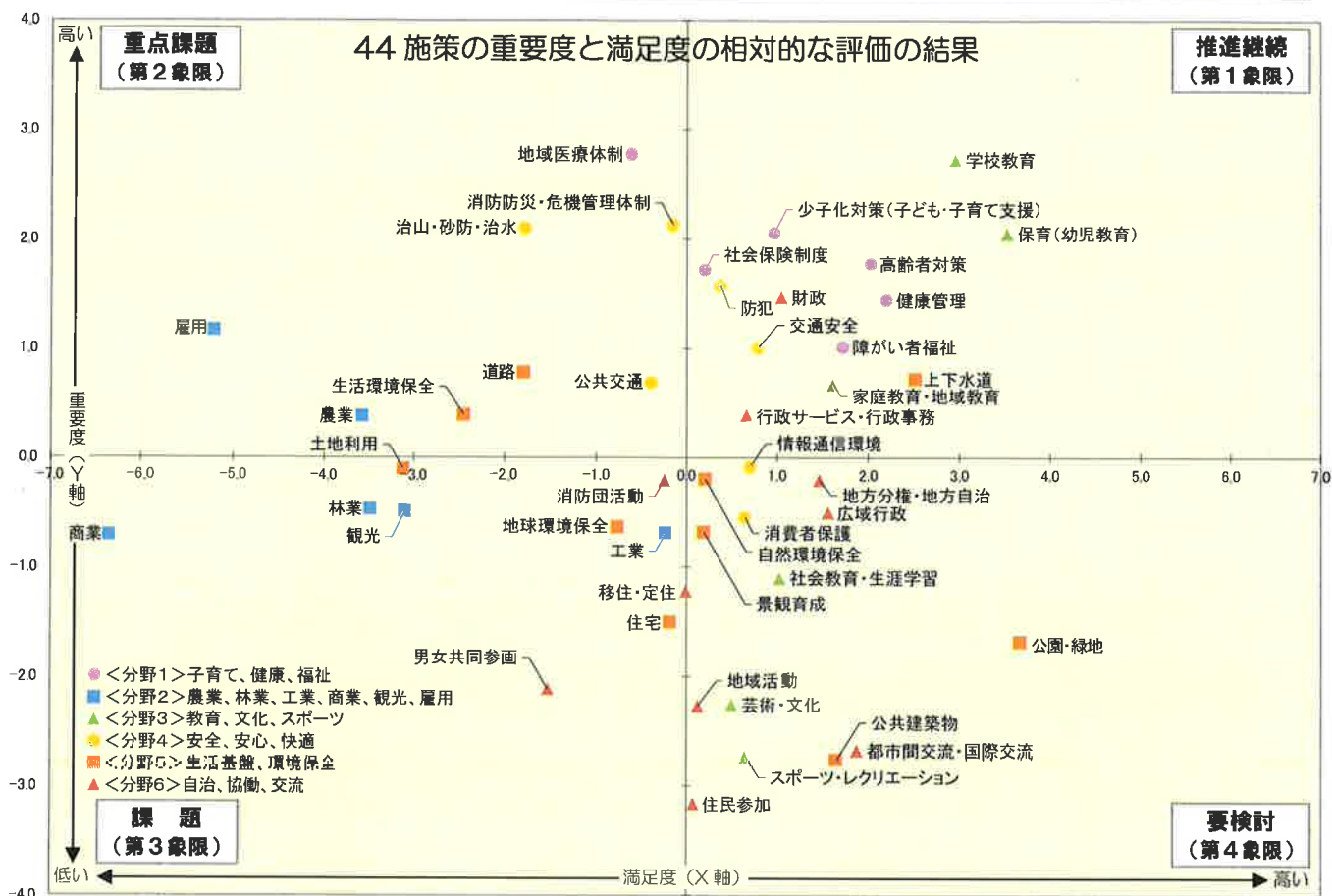
現計画の6分野44施策に対する現状の満足度と今後の施策としての重要度をそれぞれ4段階で評価していただきました。その回答を以下のように点数化し、縦軸を重要度、横軸を満足度にした座標上に各施策を位置づけ、性別・年齢別の同様の分析も加えて、次ページに分野ごとにみられる評価の特徴を分析しました。

＜満足度と重要度の点数化のルール＞

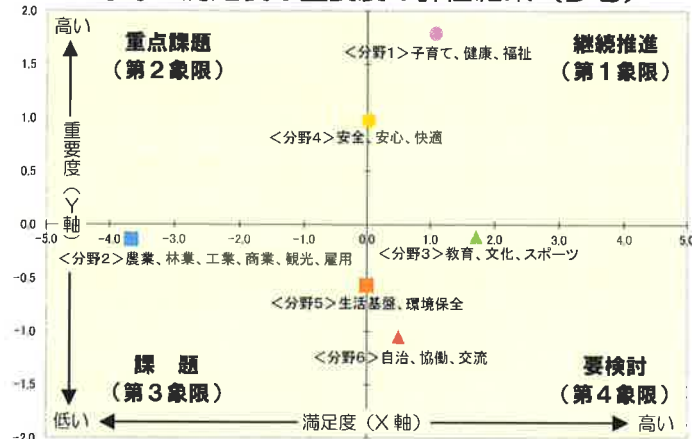
施策ごとに下記の配点で回答を点数化し、全施策の平均点との差を指標として示している

【満足度】満足・十分：3点 概ね満足・十分：2点 やや不満・不足：1点 不満・不足：0点

【重要度】重要・必要：3点 やや重要・必要：2点 あまり重要・必要ではない：1点 重要・必要ではない：0点



6分野の満足度と重要度の評価結果 (参考)



左図に参考として、施策ごとの評価結果を同一分野の施策の平均点で、分野ごとの満足度と重要度としてグラフ化し、特徴を以下にまとめました。

- 横軸の満足度で最も点数が高いのは、**教育、文化、スポーツの分野3**、次いで子育て、健康、福祉の分野1、3位が自治、協働、交流の分野6となっている。他方、農業、林業、工業、商業、観光、雇用の分野2は満足度が突出して低い。
- 縦軸の重要度で最も点数が高いのは、**子育て、健康、福祉の分野1**、次いで、安全、安心、快適の分野4が他の分野より際立って高い。
- 以下のグラフの読みとり方にしたがって、満足度と重要度を組み合わせてみると、**分野2や分野4が相対的には重点課題として対応の必要性の高い分野**として読みとることができる。

### ＜グラフの読みとり方＞

- 第2象限 (重要度：平均以上、満足度：平均未満) → **重点課題**：最も課題のある施策であり、重点的に推進する項目・施策
- 第1象限 (重要度：平均以上、満足度：平均以上) → **継続推進**：継続的に村民の満足を得られるよう施策を推進する項目・施策
- 第3象限 (重要度：平均未満、満足度：平均未満) → **課題**：課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する項目・施策
- 第4象限 (重要度：平均未満、満足度：平均以上) → **要検討**：一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する項目・施策

<分野1> 子育て、健康、福祉 →前ページ図の凡例：●の施策参照

- 【全 体】該当6施策の重要度はすべてプラス側にあるなかで、唯一、満足度もマイナス側にある地域医療体制はこの分野のなかでは重点課題として捉えられる。
- 【性 別】満足度、重要度ともに男女でおおむね同様の評価だが、社会保障制度の満足度は女性より男性のほうが低い傾向がみられる。
- 【年齢別】65歳前後の比較では、地域医療体制の満足度は64歳以下のほうが65歳以上よりも低く、その差も比較的大きい。逆に、社会保障制度は65歳以下のほうが64歳以上よりも満足度が低い傾向がみられる。

<分野2> 農業、林業、工業、商業、観光、雇用 →前ページ図の凡例：■の施策参照

- 【全 体】該当6施策すべて満足度がマイナス側で、工業以外はとくにそのマイナス度が大きい。そうしたなかで重要度もプラス側にある農業と雇用はこの分野における重点課題として捉えられる。
- 【性 別】満足度は男女でおおむね同様の評価だが、工業の重要度は男女で差があり、男性が若干プラス側にあるのに対して女性は大きくマイナス側にある。
- 【年齢別】65歳前後の比較では満足度、重要度ともにおおむね同様の評価だが、雇用の重要度の評価は、65歳以上より64歳以下のほうが高い。

<分野3> 教育、文化、スポーツ →前ページ図の凡例：▲の施策参照

- 【全 体】該当6施策すべて満足度がプラス側にある。なかでも学校教育、保育（幼児教育）、家庭教育・地域教育は重要度のプラス度も大きく、継続的な施策推進が求められる。他方、スポーツ・レクリエーション、芸術・文化、社会教育・生涯学習の重要度は相対的に低い。
- 【性 別】男女とも満足度はおおむね同様の評価だが、重要度は男性では保育（幼児教育）、女性では家庭教育・地域教育の各評価がそれぞれ比較的高い。
- 【年齢別】65歳前後の比較では満足度、重要度ともにおおむね同様の評価だが、保育（幼児教育）、学校教育、家庭教育・地域教育は65歳以上で満足度がやや高く、家庭教育・地域教育と社会教育・生涯学習は64歳以下で重要度がやや低い。

<分野4> 安全、安心、快適 →前ページ図の凡例：●の施策参照

- 【全 体】該当7施策のうち4施策で満足度がプラス側にあるものの、その評価は必ずしも高くない。他方、満足度が最もマイナス側にある治山・砂防・治水は、重要度も高いことから、今後の重点課題として捉えられる。
- 【性 別】男女で大きな差があるのは消防防災・危機管理体制の満足度で、女性のこれはプラス側にあるの対し、男性ではマイナス側にある。逆に公共交通は女性の満足度のほうが男性より若干低い。
- 【年齢別】公共交通、交通安全、防犯の満足度は、65歳以上がプラス側にあるのに対して、64歳以下はマイナス側にあり、65歳前後で比較的大きな評価の差がみられる。

<分野5> 生活基盤、環境保全 →前ページ図の凡例：■の施策参照

- 【全 体】該当施策が10と多数あるなかで、満足度は施策によるバラツキが比較的大きく、公園・緑地の評価が全体のなかでもとくに高い一方で、土地利用に対する評価は低い。
- 【性 別】満足度、重要度ともおおむね同様の傾向で、この分野では男女により評価の差が小さい。
- 【年齢別】住宅、自然環境保全、景観育成の各満足度は、64歳以下ではいずれもプラス側にあるのに対し、65歳以上はマイナス側でやや評価が低い。

<分野6> 自治、協働、交流 →前ページ図の凡例：▲の施策参照

- 【全 体】該当10施策のうち重要度がプラス側にあるのは財政と行政サービス・行政事務の2施策のみ。男女共同参画は重要度は高くないものの、この分野のなかでは満足度が際立って低い。
- 【性 別】消防団活動の満足度は男性がマイナス側、女性がプラス側で、分野4で記載した評価の特徴とも符合している。
- 【年 齢】地域活動、住民参加、移住・定住の満足度は64歳以下ではプラス、65歳以上ではマイナスで、64歳以下のほうがやや評価が高い。

## ■ 重点プロジェクトの妥当性と評価

### ① 新型コロナウイルスの克服

- ・妥当性は「妥当である」が約 86%で、全プロジェクトのなかで最も比率が高い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が 90%で、他のプロジェクトと比べて突出して高く、「わからない」の比率も全プロジェクト中、最も低い。

### ② 国道 143 号青木峠バイパスの整備・活用

- ・妥当性は「妥当である」が約 75%で、全プロジェクト中 3 番目の比率。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 68%で全プロジェクト中 4 番目だが、「非常に評価できる」が比較的高い。
- ・他方で「評価できない」も一定数いる。

### ③ 産業基盤の強化、企業誘致の促進

- ・妥当性は「妥当である」が約 72%で、全プロジェクトのなかでは 4 番目の比率。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 66%と低くはないが、全プロジェクト中では 5 番目で、「わからない」も約 22%と、相対的には認知度も高くはない。

### ④ 関係人口・交流人口の拡大

- ・妥当性は「妥当である」が約 68%と低くないが、全プロジェクトのなかでは相対的に比率が低い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 69%で全プロジェクト中 3 番目に高く、「わからない」も 2 番目に低く、認知度も比較的高い一方、「評価できない」も一定数いる。

### ⑤ あおきっ子 2 クラス化の実現

- ・妥当性は「妥当である」が約 68%と低くないが、全プロジェクトのなかでは相対的に比率が低い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 57%で過半数は超えているものの、全プロジェクト中最も低く、「わからない」も 30%超で最も高く、相対的に認知度が低い。

### ⑥ 健康寿命の延伸

- ・妥当性は「妥当である」が約 81%で、全プロジェクト中、2 番目に比率が高い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 70%で全プロジェクト中 2 番目に高い一方で、21%の方が「わからない」とも回答している。

問10 重点プロジェクトの妥当性

※択一回答	① 新型コロナウイルスの克服	② 国道143号青木峠バイパスの整備・活用	③ 産業基盤の強化、企業誘致の促進	④ 関係人口・交流人口の拡大	⑤ あおきっ子2クラス化の実現	⑥ 健康寿命の延伸
妥当である	86.4	75.3	71.8	67.7	68.4	80.5
妥当ではない	2.3	5.7	5.9	9.1	3.4	3.1
わからない	9.6	17.6	20.7	21.2	26.5	15.0
無回答・無効	1.7	1.3	1.6	2.1	1.6	1.1
回答数	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049

問10 重点プロジェクトのこれまでの取り組みの評価

※択一回答	① 新型コロナウイルスの克服	② 国道143号青木峠バイパスの整備・活用	③ 産業基盤の強化、企業誘致の促進	④ 関係人口・交流人口の拡大	⑤ あおきっ子2クラス化の実現	⑥ 健康寿命の延伸
非常に評価できる	45.3	26.5	21.5	22.4	18.6	21.6
まあ評価できる	44.7	41.3	44.1	46.3	38.1	47.9
あまり評価できない	1.1	9.1	8.8	11.0	8.8	6.6
まったく評価できない	0.3	1.6	1.2	1.8	1.1	1.1
わからない	7.2	19.7	21.7	16.3	31.0	21.0
無回答・無効	1.3	1.8	2.6	2.2	2.4	1.8
回答数	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049

## ■ どのような施策に力を入れるべきか（記述回答から一部要約抜粋）

<商業> スーパーマーケットが欲しい、生活必需品の買い物は上田市まで行かないといけない

<医療> 診療所しかなく医療機関が不十分、大きな病気は上田市まで行かないといけない

<雇用> 村内で働ける場所が必要、若者が住み続けられる環境が必要

<移住・定住> 空き家の活用、企業誘致による人口増加、自然・景観の保全、住み続けたい住環境の整備

<公共交通> 交通弱者の交通手段の確保、高齢者の買い物・通院が不便

<防災> 災害への対策の強化、治山・治水・砂防事業の推進

<道路> 生活道路の安全確保、通学路の安全確保、今後の交通量増加への対策、草刈りなど維持管理

## ■ 青木村の将来像・魅力（記述回答からキーワード分析）

### ★キーワード出現回数トップ 10

「村」：600回 「住む」：142回 「自然」：96回 「青木」：95回 「安心」：56回  
 「豊か」：54回 「人」：53回 「村民」：49回 「思う」：45回 「日本一」38回

## ■ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に関して

### ●自身の感染リスク【問9(1)①】・家族の感染リスク【問9(1)②】

- ・「常に感染リスクを感じている」「少しは感染リスクを感じている」の合計は全体の約75%で、「全く感染リスクを感じていない」は、全体及びいずれの属性でも非常に少なく、いずれも1割に満たない。
- ・性別で大きな差はないが、年齢別では65歳以上の方より、64歳以下の方のほうが感染リスクを感じている方の比率が高い。

### ●ワクチン接種【問9(2)】

- ・「十分な対応がなされていると思う」「それなりの対応がなされていると思う」の合計は、全体及びいずれの属性でも約95%と非常に高く、ワクチン接種の対応への評価は全体的に高い。

### ●支援策・経済対策【問9(3)】

- ・「十分な対応がなされていると思う」「それなりの対応がなされていると思う」の合計は、全体及びいずれの属性でも80%以上で、支援策・経済対策に対しても一定の評価が得られている。
- ・上記の比率を年齢別にみると若干差があり、65歳以上が約90%に対して64歳以下は約80%で、高齢層のほうが支援策・経済対策に対する評価は高い。
- ・「どのような対策を講じているのかわからない・わからない」という方も一定数いる。

### ●記述回答からの一部要約抜粋

- ・高齢者のワクチン接種の対応が他市町村に比べて早くてよかった
- ・ワクチン接種が予約制ではなく日時指定だったのがスムーズでよかった
- ・若い世代のワクチン接種の対応が高齢者に比べて遅れている
- ・情報電話などによる感染者が出た際の対応がよかった
- ・給食費の補助・支援金等がありがたい

※択一回答	全体	性別クロス		年齢クロス	
		男性	女性	64歳以下	65歳以上
常に感染リスクを感じている	76.4	75.9	76.2	80.5	70.8
少しは感染リスクを感じている	42.9	42.2	42.8	47.6	36.6
あまり感染リスクは感じていない	20.1	21.4	19.5	17.0	24.1
全く感染リスクは感じていない	3.4	2.7	4.1	2.5	4.9
無回答・無効	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2
回答数	1,049	481	533	611	432

※択一回答	全体	性別クロス		年齢クロス	
		男性	女性	64歳以下	65歳以上
常に感染リスクを感じている	74.4	75.7	73.8	79.1	67.6
少しは感染リスクを感じている	43.4	43.7	43.2	49.8	34.5
あまり感染リスクは感じていない	16.3	15.8	16.7	14.6	18.3
全く感染リスクは感じていない	3.0	2.9	3.0	2.0	4.4
同居の家族はいない	5.8	5.2	6.0	3.8	8.8
無回答・無効	0.6	0.4	0.6	0.3	0.9
回答数	1,049	481	533	611	432

※択一回答	全体	性別クロス		年齢クロス	
		男性	女性	64歳以下	65歳以上
十分な対応がなされていると思う	95.7	95.9	95.6	94.1	97.7
それなりに対応がなされていると思う	31.2	30.8	31.1	36.3	23.6
対応が不十分だと思う	1.3	1.5	1.3	1.6	0.9
村がどのような対応をしているのかわからない・わからない	2.9	2.7	3.0	3.8	1.4
無回答・無効	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
回答数	1,049	481	533	611	432

※択一回答	全体	性別クロス		年齢クロス	
		男性	女性	64歳以下	65歳以上
十分な対策が講じられていると思う	84.1	84.2	83.8	80.1	89.4
それなりに対策が講じられていると思う	53.5	55.9	51.2	53.7	53.5
対策が不十分だと思う	2.0	2.1	2.1	3.1	0.9
村がどのような対策を講じているのかわからない・わからない	13.3	13.3	13.5	15.7	9.5
無回答・無効	0.7	0.4	0.6	0.5	0.7
回答数	1,049	481	533	611	432